

第8回世田谷区立中学校部活動地域移行に係る検討委員会

日 時：令和5年7月27日（木）午後6時30分～午後8時00分

場 所：区役所第一庁舎「庁議室」

出席者：委員（12名）

【学識経験者】近藤委員（委員長）、細越委員（副委員長）、芳地委員

【総合型地域スポーツ・文化クラブ代表】岸田委員

【保護者代表】栄委員、松浦委員

【区立中学校教員】加藤委員、大塚委員

【せたがや文化財団事務局長】志賀委員

【世田谷区スポーツ振興財団事務局長】浅野委員

【区職員】大澤委員、小泉委員

事務局（4名）

- 1 開 会
- 2 会議録の確認
- 3 部活動地域移行に係る検討委員会報告書（中間まとめ）について
- 4 次年度以降の取組みについて（意見聴取）
- 5 部活動地域移行に関するアンケート（全生徒/保護者/教員向け）について
- 6 その他
- 7 閉会

午後 6 時30分開会

○事務局 それでは、定刻となりましたので、本日も開始をしたいと思います。

前回までと同じように、感染症対策については、マスクの着用はそれぞれの方の御判断でということをお願いしております。

本日も20時の終了を目途に進行していただきます。御協力よろしくお願いたします。

それでは、委員長、よろしくお願いたします。

○委員長 それでは、よろしくお願いたします。

それでは、第 8 回の世田谷区立中学校部活動地域移行に係る検討委員会を始めたいと思います。

本日は、宮幸委員、宮内委員、渡邊委員が欠席で、松浦委員が遅れていらっしゃるということを伺っております。出席は12名でございます。

それでは、お手元の次第に従いまして進めていきたいと思っております。

まず、会議録の確認でございます。第 7 回の会議録の案がございますけれども、各委員のところに既に事務局から事前に送付されていると思しますので、何か追加での訂正等がございましたら、お申出いただければと思しますが、いかがでしょうか。

では、また何か気づきましたら最後のところでお伺いしますので、そちらで御発言いただければと思しますが、ひとまずこのところでは、第 7 回の会議録については案のとおりとさせていただきますと思っております。

続きまして、次第の 3 でございます。部活動地域移行に係る検討委員会の報告書（中間まとめ）についてでございます。資料 1 でございます。事務局、よろしくお願いたします。

○事務局 それでは、報告書の中間まとめについて簡単に御説明させていただきます。

まず、前回、皆さんに御意見をいただいて、どうもありがとうございました。その後にメールでいただいた御意見を反映して修正したものを送らせていただきました。その後、いただいた御意見をさらに反映したものを今日資料としてお配りしております。メールでお送りしたときには、一応前回の御意見を受けた形で、議論のプロセスについて順番など、トライアルと課題の順番ですとか、中学生の意見を聞いたプロセスですとか、そういったところを少し実際の時間に合わせたほうがよいのではないかとということで、構成を変更させていただいております。

それから前回、委員長からお出しいただいていた 6 つの視点の記載であるとか、生徒を中心にとったような表現を少し強調した形で修正させていただいております。それが

メールでお送りしたものでございます。

今日の修正ですけれども、まず、3ページと19ページに委員長から原稿をお寄せいただいたものを掲載しております。「はじめに」と4-3のキャッチフレーズに関する項目です。

それ以外ですけれども、修正した箇所、今日はモノクロの印刷なので少し見づらくて恐縮ですが、パソコンのマーカー機能でグレーのラインを引いてある箇所が前回のメールから修正された箇所です。少し読みにくくて申し訳ありませんけれども、そのように御理解いただければと思います。

では、一旦御説明は以上です。

○委員長 ありがとうございます。ただいまの御説明に関わりまして、あと中身も含めて御質問、御意見をいただきたいと思いますが、いかがでしょうか。少なくとも私のところについては、「はじめに」のところで大まかなお話を最初にさせていただいておまして、最後に、これを契機として多くの方々、区民の皆さんも含めて深い議論ができればという形の呼びかけになっているところでございます。

それから、私の箇所については少し文言を修正させてもらっておりまして、この言い方だとよく分からないというのは、こう言うてはなんですけれども、私の妻が教員をやっているもので、文言の修正とか主語、述語のねじれみたいなものを全部チェックしてもらおうというのをやっってもらっているんですけれども、19ページのところなんですけど、「新たな価値」のところの表記の仕方を少しだけ変えております。1番はほとんど変わっていないところでございますけれども、例えば6番の「自宅や学校とは違う居場所がある（サードプレイス）」とか、あとは5番で「地域への誇りを感じられる」というふうに、もうちょっとシンプルに表現したらという形で今回、表現を変えさせていただいておりますので、前回資料と少し異なっている表記だということなんですけれども、意味は変えておりませんのでよろしくお願ひします。

それから、私から少し、これを頂いてからもう1回じっくり読み直して感じたところで、用語のところなんですけれども、生徒を中心とすることというところの一番最初の「はじめに」というところの真ん中辺に書いてあるところなんですけど、ほかの箇所には生徒ファーストという形で書いておまして、どういうふうに表記するのかというところが少し気にはなっていたところなんです。コーチングの分野ですとか、センタードという言葉を使うようにしているんですね。中心に置いていくというふうな意味をそのまま英語化しているものでございまして、スチューデント・センタードとか、アスリート・センタードとか、プ

レーヤーズ・センタードみたいな形で言うておりました、ファーストという言葉を使うと、どうしてもセカンド、サード、フォースというふうに順序性を示してしまうところがございまして、1番が例えば子どもで、2番が保護者でみたいな形で、あるいはティーチャーでというふうに上下関係をつくってしまうということなので、あまり最近では使われなくなっているところが事実でございます。その意味で少し全体の残りのところの箇所に書かれている生徒ファーストという用語とスチューデント・センタードというところの表記をどちらかに統一したほうがよいのではと私は感じているところです。

こんなところも含めて、皆さんから何か御質問、御意見はございませんでしょうか。

○副委員長 委員長、ありがとうございます。スチューデント・センタードのところは、その表記でいいのかなと思いますので、子どもたちが中心、真ん中だということが分かればよろしいかと思います。

取りあえず以上です。

○委員長 ありがとうございます。ほかに気づいたところはいかがでしょうか。

○委員 大変な作業を担っていただきまして、ありがとうございます。

中間報告の素案ということで、これからこの中間報告がどういった形で公開をされていくのか。実は私、大学の教員をしながら、日常クラブという総合型クラブの委員も併せて仰せつかっております、先日、区内の9つのクラブが集う連絡会議というものがあまして、地域の皆様、情報というものをすごく欲している。どういうふうな議論がなされていて、どういうふうなことが総合型に期待されているのか、できれば情報を公開してほしいというような要望が出てまいりましたので、この中間報告がどのような形で公開されていくのか、そこを確認させていただきたいなと思います。

○事務局 では、私のほうで御説明させていただきます。

今回の毎回の会議につきましても、資料と議事録については世田谷区のホームページでまず公開をしております。この中間まとめにつきましても同様の形となりますが、どなたでも御覧いただけるような形で公表をしていくという形になります。時期としましては、この後、今日、皆さんから御意見をいろいろいただきまして修正を重ねたものを、この後、私どもの部署で上の者にもきちんと確認をした上で公表につなげていくという形で、議会のほうに御報告をした上で公表するというような手順になります。

○委員長 事務局、議会も含めて、どういうスケジュールで最終的に予算の、そこら辺、秋口までの流れを少し教えていただければと思っています。

○事務局 時期的に申し上げますと、大体これをまとめるのが8月末ぐらいまでにきちんと整理をする。それで9月に、区議会の常任委員会というのがございまして、文教常任委員会というのが私どもの領域の報告になります。9月に開かれる文教常任委員会で御報告をするという形です。同時に、予算のことですけれども、世田谷区の予算をまとめる時期は、ざっくり申し上げますと9月頃に各所管で数字を出して行って、それを12月、1月ぐらいまでの間にいろいろと整理をしていくというような形になるので、そこにのっかっていくような形となっていきます。

○委員長 ありがとうございます。ほかにいかがでしょうか。委員、お願いします。

○委員 取りまとめ、ありがとうございました。

先ほど委員長からお話があったスチューデント・センタードというのは、私もそれでいいと思うんですけども、多分この中で例えば7ページの2-1-1とか、生徒ファーストという部分もあるので、その辺は表現を統一していったほうがいいのかと思いました。

○委員長 ありがとうございます。よろしくお願いします。ほかにいかがでしょうか。

では、また最後のほうでもし何か追加でございましたら、会議録とともに少し御指摘いただく時間も設けたいなと思っていますので、いろいろな議論をしていただきながら、逐次チェックしていただければと思っています。

では、次の次第の4に移ってもよろしいですか。次年度以降の取組についてということで、ここから先はブレインストーミングの形で、いろんな形の御意見をいただければと思っていますので、すみません、事務局からよろしくお願いします。

○事務局 では、次第4の御説明をさせていただきます。

今日、公式資料のほかに机上配付資料を一つお配りしております。A4横型の部活動のパターン想定というタイトルになっております。以前に何回か、いろんなパターンということで資料をいろいろな形でお出ししております。今日、議論をするのに参考にとにかく、共有しやすいようにということで、こういう形でお出しをしております。

この表の見方ですけれども、御覧いただいて、そのとおりなんですけれども、一番右側のところに今年度のトライアルで対象になるものを対比で載せさせていただいています。今日は、今年度トライアルをやっていて、この後、それを来年度以降の動きにつなげていくということと、また来年度新しく何かを始めるということとございます。また、もうちょっと長い目で見て、先のことも含めてで、もちろん構わないんですけども、ぜひ今年度の動きなどを見ていて、いろいろと御意見が皆さんおありになるかなと思いますので、

こういうことをやったほうがいいのではないかとか、こういうことができていないからやっってはどうかとか、いろんな忌憚のない御意見をいただければと思っております。

来年度、こんなことをやろうかなと事務局で考えているところについて少しお示しをします。まず、今年度やっているトライアルにつきましては、名前はトライアルという形を外すかもしれませんけれども、参加されている生徒もいらっしゃるので、可能であれば来年度以降も同じ形で続けていけないかということで初めからスタートをしておりますので、前提として続けられるものは来年度にも続けていくというふうに考えております。課題があるものについては、その課題の解決も必要になるのかなと思っております。

この後、少し御発言いただくかなと思っておりますけれども、文化財団の演劇部につきましては、この後、少し形を変えてということで伺っておりますので、後ほど少しお話しいただければと思います。

表で言いますと、左側の番号で言うと1-11からのところですが、民間事業者について、民間の事業者、それからプロのチームのコーチですとか、そういうところでこれまでトライアルをやってきておりませんので、来年度何らかの形でトライアルに取り入れていきたいと思っております。

それから総合型ですけれども、1つ今実施をしていただいておりますが、総合型の連絡会でも、先ほども委員からもお話がありましたけれども、いろいろと御意見もいただいておりますので、可能などころでもう1つか2つぐらい増やせないかなということは考えております。

それから、地域移行そのものとは違いますが、この表で言うと下側の2)ですけれども、部活動の地域連携という国の資料で途中から新しく出てきた形ですけれども、世田谷区は部活動支援員の制度がありますので、ここのところをもう少し整理して強化していくということを考えております。

その下を書いてありますけれども、大会に審判を派遣するような、また、その審判の資格を取ることを支援するような仕組みをつくれなかなということを考えております。部活動支援員につきましても、もう少し人材バンク的な要素を強めたり、支援員同士で情報を交換したり、そういった何かモチベーションが上がるような工夫ができないかなということを考えておまして、これはまだ未確定のただのアイデアの段階ですけれども、ポータルサイトみたいなものをウェブ上につくって意見交換してもらえたり、活躍されているところを外に発信していけたりみたいなことを何かできるといいなと考えております。

所管で今考えているものについては以上でございます。ぜひ皆さんからいろんな御意見を伺えればと思います。ありがとうございます。

○委員長 ありがとうございます。あくまでこれは机上の資料でございまして、今、地域連携のパターン想定というところのお話を中心にいただきましたが、それ以外のところも含めて個別の検討事項、それからもう少し大きなところでも構いませんので、来年度どうしましょうかというところでございます。いかがでしょうか、こここのところを検討してくれとか、ここはどうでしょうかということ。では、委員、お願いします。

○委員 今、事務局からお話があって、文化財団は来年少し演劇部の形を変えるというお話がありましたが、やることを変えるつもりはありません。例えば、この議論の中で、うちでやっている中学校演劇部、演劇部のパブリックシアターでやっているものですが、学校の管理下という点から考えると、本当にこれは部活動に当たるのかというそもそも論があるんですが、ただ、先ほどの中間報告の中にあります部活動の地域移行の6つの視点には、やっていることは全て当てはまるんですね。トライアルで今年、中学生の部分だけやりましたけれども、来年度以降につきましても同じような形で、恐らく財団の自主事業という形になろうと思います。

と申しますのは、今回、中学校の部活動ということで切り出していますけれども、世田谷パブリックシアターでは、小学生向けとか高校生向けの夏休みのワークショップを同時に今ちょうどやっている状況でございます。その中の中学校の部分だけクローズアップして、部活動の地域移行という形にはなっておりますが、引き続き演劇をやりたいけれども、自分の学校で演劇ができないという生徒たちの受皿には今後もあり得るのかなと思っておりますので、来年の補助金がどうなるのかなというのはあるんですが、基本的には文化財団、パブリックシアターの自主事業的に今後ともこの事業については続けていきたいなと思っております。

○委員長 委員、ありがとうございます。副委員長。

○副委員長 失礼いたします。トライアル事業を来年度以降どうするかということで、いろんな形のケースが増えていくのが、そのエリア、エリアとか、あるいは子どもたちの状況に合った形ができてくるかなと思いますので、ぜひ今年の4つ以外のスタイルといえますか、枠組みでというのは積極的にやっていったらいいのかなと思うんですけれども、さっきもお話がありました総合型のクラブの皆さん、私も少し関わりがあったりするんです。お話を伺っていると、何をどう受けたらいいか分からんというのが率直な意見であるよう

なので、ぜひガイドラインといいますか、そういったものを少し形づくってみるとか、あるいは指導者の皆さん、人材バンク登録制度というのももう少し名称を考えて明確にしていく。

それから、これまでも意見がありましたけれども、学校の先生方はもう研修を様々受けられていると思うんですけれども、地域の方が指導者として部活動に関わるときに、研修制度をどうするかというのが今のうちから考えておいたほうがいいのかないかなということで、例えばどこかでやっているのに共同で出ていくというのも構わないでしょうし、そのあたりは検討してよろしいのかなと思いました。そうすると、総合型の方も、今、東深沢さんでされていますけれども、そういうことなら、我がほうでできることがあるよという手が挙がるかもしれませんし、またお願いしやすい状況も、条件も出てくるかなと思って聞いておりました。

もう1点は、来年度の実施予定のところで民間事業者、スポーツクラブ、プロチーム等の関与というのは、先ほどのパターン想定のところがありましたけれども、そうになると、やはり受益者負担をどうするかという話にならざるを得ないんだと思いますので、そのあたりの費用の問題をどうするかということと、学校外の方が中心でされるというときに、民間の方がされるときの枠組みというか線引きというか、何かそのあたりを今のうちから考えなきゃいけないのかなとは思っておりました。

この後のアンケートの中にもあるようですけれども、では、保護者の方が幾らぐらいまでなら会費として許容できるのかとか、そんな事実をまず集めることも、それに向けた第一歩としては大事かなと思って今伺っておりました。

たくさんしゃべりましたけれども、以上です。

○委員長 ありがとうございます。今、幾つか視点が出てきたかと思いますが、現時点で構わないんですけれども、総合型スポーツクラブと今回の事業との関係をどういうふうに推し進めていくか、ガイドラインをつくるのですとか、あるいは調整会をするとか、いろんなことが考えられると思いますけれども、今のところ、いかがですか。

○事務局 総合型について、まず現状ですけれども、今年度のトライアルを始めるに当たりますして、全部で3つあるんですけれども、中学校を拠点にした総合型には個別に説明会を開いていただいて、私どもが行って、メンバーの方たちも含めて御説明をさせていただきます。

結果として東深沢でやっていただくことになったんですけれども、ほかのところとも情

報の共有はしているという状況です。それぞれいろいろとやりたいという意欲は持ってきていただいております。やっぱり学校側の受入れとお互いに条件といたしますか、そういったところが少しまだ難しかったのかなとは感じています。実際にやったこととしては、中学校に部活動、この中学に部活動、こういう部がありますよというところがありますので、総合型のほうにも今やっていらっしゃる種目があつて、そことの何だったらできそうかとか、そういったところも少し整理してお話を一緒にさせていただいたりはしています。

そこから半年ぐらいたっていますので、また次に向けて何かできそうなことが、どのあたりなのかというところは、この後も丁寧にお話をさせていただこうかなと思っています。小学校が拠点のところですけども、意欲のあるところもおありになるんですけども、1個だけ小学校で総合型の活動をしているところに中学の部活動を入れていくというのが、小学校の施設の利用というところと少し課題となるところもあるかなとは感じています。

同時に、中学を第2会場とされているところもあるので、そういうところにはぜひ御協力いただけたところをまた探っていきたいかなと思っています。総合型でやっていただくというのは、最終的には補助金の制度をつくらなくてはいけないのかなと思っています。その辺は来年度から検討に入っていくところかなと思っていますので、条件といたしますか、何をやっていただくことに対して補助金が払えるのか、その条件設定みたいなものも必要になってくるのかなと思っています。

総合型の連絡会というのが定例的にあるんですけども、やはり意欲があつて、いろいろ情報が欲しいというお声はいただいておりますので、そこは私どものほうでもきちんと伝えていきたいとは思っております。

○委員長 ありがとうございます。いきなり個別の話で申し訳なかったんですけども、ほかに今、副委員長から人材バンクの具体と併せて研修制度、それから受益者負担のとりわけ民間業者に対してどういうふうに、要は収支のバランスも含めて考えていくか、大きく分けて2つぐらいの話が出ていたんですけども、そこら辺はどういうふうに想定しますか。

○事務局 まず人材バンクですが、今、部活動支援員登録制度を設けていて、実際は学校の周辺でやっている活動なので、人材を探すということも含めて、例えば中学校のOBで大学生ぐらいになられた方とか、学校でも探していただいていたりする背景はございます。この人が指導委員をやることになった、そのことだけでリストを作って、今やってい

る人が登録されている状態なんですけれども、もう少しやりたい人ですとか、やめてしまって今はやっていないけれども、できる可能性のある方とか、そういう学校の周辺にはいない方で区のトリガーを使って手を挙げていただけるような方へ情報が届くようにするとか、そういうところをもう少ししっかりやっていきたいと考えています。

今は何となく学校を経由して情報が行っているようなスタイルを取っているので、今はメールとかSNSですとか、ホームページのポータルですとか、いろんな手段があるので、情報をもう少しお互いに伝えやすくする手法をぜひ取り入れていって活性化していきたいと思っております。人材バンクは、東京都でも人材バンクをつくりますということで今準備をされていますが、世田谷区はせっかくこれだけ大勢の方が活動されているので、人材バンクというような形のものをつくれなかなとも思っているのと、これは決まったことではないのですけれども、ただのアイデアとしては、せっかくスポーツ振興財団さんがありになるので、こういうことに御協力いただくという可能性も、もしかしたらあるのかなということも少し所管では思っております。

○委員長 もう一つ、受益者負担はどうしますか。

○事務局 受益者負担については、これをぜひトライアルでやるべきだという御意見は大分いただいております。前回の会議でも御発言があったと思います。やっぱりやったほうがいいのかと思っています。総合型でも、総合型の会費を払って皆さん出られているので、同じような御意見が出ていたと思います。

一方で受益者負担をしていただくと、経費を払えないから部活に参加できない子が出ては困るというような御意見も多くいただくことがあります。ですので、そこについてはトライアルでもしやるとすると、その整理をしっかりとってからでないといけないし、試してみるということでも、いろいろな考え方を整理しなければいけないなどは思っています。特に所得の低い世帯の方に対しての補助制度というところは、国の資料にもはっきり書かれていますし、いずれ制度化は当然必要なんですけれども、受益者負担で会費の金額の高い低いというものもありますし、その辺の整理が必要になっていくと思っております。

○委員長 ありがとうございます。幾つか出てきましたけれども、今の御説明いただいた視点に加えていただいても構わないですし、そのほか、では、委員、お願いします。

○委員 失礼いたします。別刷りの資料にも、冒頭、地域移行と地域連携のパターン想定ということで、机上のファイルの参考資料6-03のところにもありまして、これまでも確認をしてきた内容ですけれども、学校部活動、学校教育の一環として地域連携というもの

は捉えられる。今、多くのトライアルがこの形態で実施されているのではないかと承知しております。一部せたがや文化財団につきましては、既に地域クラブ活動のような形態で移行できているのではないかと承知しております。分け方として、副委員長からも様々なパターンがあったほうがということですので、地域連携のパターンと地域移行のパターン、そういった分け方でトライアルをやっていくということも必要なのではないかと考えています。

あと、前回、アンケートの結果を委員会にて拝見させていただいたときに、まだまだ移行期、トライアルが始まったばかりでしたので、先生方の負担が逆に増えている。調整をしたりとかということが見られました。いかに先生方、学校の手から離していくのかというようなトライアルをもう少し深掘りしていく方向性も必要なのではないかなと考えております。

最後ですけれども、来年度から民間の事業者やプロチーム等が参入をされる、トライアルを想定していくということですが、今回の中間報告の20ページ目にありますように、6番のところですか、自宅や学校とは違う居場所がある、いわゆるサードプレイスという言葉が委員長のほうでつくっていただいて、その1行目、これは私たちが大切にしてきた価値観の一つでもあるのではないかなと考えているんですけれども、中学校の部活動は小学生のための学童保育と類似した機能も果たしている。これまで読み書き、給食、部活動というのが、いわゆるセーフティーネットとして機能してきたというような歴史と伝統が学校教育の中にあるのではないかなと考えています。

懸念するのは民間事業者が参入してきたときに、いわゆる習い事になって、いわゆる利益追求型といいますか、そういった塾と同じような形になっていくのではないかなと考えております。その中で地域移行、地域クラブ活動という名称を使えるという意味では、登録制度のようなことも少し整備をしていかないと、自由競争で何でもあるよというような流れから、登録制度を整備することで、この価値観が理解できる、体現できる団体であるのか否か。社会性とか公共性がちゃんと保障されているのか。営利目的ではなくて、非営利性の高い活動であるのか。今思いついたところですが、そういった形での登録制度というものも、中長期的には整備していかなければいけないのではないかなとも考えております。

○委員長 非常に重要な意見が出されておりましたが、特に最後のところの登録制、営利企業、あるいは営利団体とのすみ分けをどういうふうにするかというところ、これはま

だすぐには答えは出ないかと思いますが、今のところ、想定ですかね。

○事務局 おっしゃるような登録の制度というものは必要だろうなという議論は所属の中でもしております。生徒が安心して地域クラブ活動として通える、場合によっては学校とか担任の先生と必要に応じて、もちろん個人情報の問題がありますけれども、情報の交換ができるような体制をつくるのかどうかというところですか、生徒たちに対しても、これは来年度から少し手がけていきたいと思っていますけれども、どういう団体が世田谷区にあって、この地域クラブ活動に相当するような形で通っていただける団体ですよというような情報をお出ししていくということですか、通っている子が何年何組の誰々さん、ここの団体に地域クラブ活動として行っていますよというような情報を学校と共有するの
かしないのかとか、するとしたらどうやってするのかとか、そういうところとも関わってくるのかなと思っています。相当するような団体についても、改めて調査をしてリスト化することも考えておりますので、そこと併せて少し考え方の整理をきちんとしていきたいと思っています。

○委員長 ありがとうございます。ほかの意見、お願いします。委員、お願いします。

○委員 先ほど副委員長からお話が出た研修制度は、総合型でやるときに一番最初にお話をさせていただいて、我々指導者としての資質、それからリスクマネジメントというところで、研修をやらないと、生徒を教えるのに誰が指導者になってもいいということではないので、ぜひこれをお願いしますということで、回答いただいているのは、部活動支援員制度で研修をやっておりますと。

その研修と同じ内容に参加をしてくださいということで、昨年12月ぐらいですか、それを前倒しでやるということで、その制度に我々が指導者、東深沢の場合ですと10何人ですから、そこに加わってやるということで、これはぜひ早めにやっていただいて、我々も指導者を集める中で、どういう資格を持っていますかと聞くんですけども、なかなかJ S P Oの資格を持っているというところまでの人はいないので、その最低限のレベルまで上げるということで、こういう人たちが指導していますと言いたいと思っています。

もう一つ、前にちょっとお話しした個人情報の件がやっぱりネックになりますので、今回、7月の夏休みのときに3日間トライアルしまして、先生がいなくてもできるようにしましょうということで、体育館の開け閉め、鍵の開閉、それからクーラーをつけたりだとか、窓を開けたり、また閉める。これをトライアルで3日間やったんです。そのときに、守衛さんに鍵を貸して、我々がもらいましょうかというお話もしたんですけども、守衛

さんでは駄目だと、職員室に取りに来てくださいという話なんですね。やっぱり学校の先生を介さないと、開閉も今できないような状況なんですね。

それともう一つ、我々だけで名簿で生徒の出欠を取ろうかということで、いろんな情報を開示はしてもらえないんですね。名簿で生徒自身が丸をつけるような形で出欠を取ることですので、そこら辺、学校との話なのか、今回のトライアルの中で、そのところが大きな課題かなと思っております。総合型で我々がやっている中で、新たな価値というところでもありますけれども、他種目多様な試行、いろんなスポーツをやろうということで、我々は体力向上部でいろんな種目をやっているんですけども、今、ボッチャをやったり、太極拳をやったり、総合型であるクラブを試しでやっているんですね。

生徒が結構喜んで、太極拳、面白いねですとか、ボッチャ、面白いねですとか、将来の地域クラブにリンクするような形でやっているんですけども、そのときに今、学校のクラブは10ぐらいなんですね。我々は24のクラブがありますから、そうすると施設が足りなくなるというのが課題になると思うので、今の学校のクラブだけでも、場所、中学校の部活が第1優先、その次は我々総合型で、第2優先的に少し確保していただいて、その後はけやきネットで一般に流している状態なんですね。24のクラブが全部地域クラブに移行すると、場所が中学校だけでは足りないという課題が多分出てくると思いますので、そのところも検討の材料になるかなと。

あとは最後に、コーディネーター制度というの、学校の先生との連携、指導者との連携とありますので、一部我々はこれを今チャレンジしているんですけども、このコーディネーターの人がいろんな指導者、いろんな種目があったときに、どう機能するのかということも今検討しているところです。

○委員長 ありがとうございます。幾つか重要なことを御発言いただきましたけれども、研修制度の問題の具体的なところ、それから鍵の開け締めも含めて、どういうふうに自立的にそこを運用していくかというところで、個人情報も含めて先生たちを介さないようにするためにはどうしたらいいのか。そして、施設の問題、さらに言えばコーディネートの問題というところが出てきているかと思います。

これは中学校の先生方にお伺いしたほうがよいかなと思っているんですが、例えば、鍵をどういうふうに管理するとか、個人情報をどうするかというところがちょっと気にはなるんですけども、先生方の視点から見たときに、どういうふうに感じますかね。

○委員 まず、鍵のほうですけども、どこの学校でも職員室の中にあって、そこに子ど

もたちの代表者が取りに来るといような部活の形態を取っていますので、完全に地域移行ということになれば、そのようなシステムを変えていかなければいけないなどは思っています。ただ、そうすると、今度は学校の管理と団体の管理、それから管理する場所、いろいろと考えなければいけないことが出てくるのかなと思います。

それから、やはりいろんなところで地域移行に当たって個人情報の問題が出てくるんですけども、今の段階ではやはりなかなか難しい。部活動とは違うんですけども、本校で土曜講習をやった際に、コーディネートということで地域の方に出席だとか何だとかをやっていた。でも、そのときに遅刻した生徒にどうやって確認しますかと。途中で何かあったときに、御家庭に連絡を取らなきゃいけないだろうしということで、ただ、やはり地域の方に住所、電話番号をお教えするのはということで、そこはハードルが1つあったものですから、やはりきちんとした資格なのか、ある程度の職なのか、何かしらのものがあつての個人情報の扱いになるのかなとは考えております。だから、今現在はなかなか難しい部分があるということです。

○委員長 ありがとうございます。委員、よろしいですか。

○委員 鍵については、恐らく今はもう学校開放の場合には警備員さんが渡していると思うので、同じようなシステムでできるかなというふうにイメージはできますね。

それから、個人情報については、学校は個人情報の取扱いについて、肖像権も含めて入学時とか進級時に確認書を取っているんですね。これも同じように、申込時に確認書、想定される個人情報の扱いについて、先ほどの遅刻の場合には連絡させてもらいますよ、いいですねというような項目を幾つか出して、具体的な許可、認識をいただくというようなことが考えられるかなと思いました。

これまで管理的な話が多かったので、K中学校の子どもたちの話と教員の話をもつたんですけども、生徒会役員と校長の懇談会というのを毎学期やっているんですね。先日の懇談会の中で、「毎年、ダンス部をつくってほしいという要望が出るけれども、実現しない」ということを子どもから聞きました。ダンス部をつくってあげたいなと校長として思いました。そうすると、ダンスの指導のできる教員を募集できないかとこれまでなら学校単位で考えるんですけども、それを地域でできないのかと思いました。地域の力でダンス部ができないかということは今考え始めたところに、こちらの1-11から1-14あたりの民間事業者とかスポーツクラブとかプロチーム等のこの枠でできないかなと。プラスして、近隣の中学校あたりも巻き込んで、他の中学校と合同で、事業者の施設でもいいし、

中学校でもいいし、たまたまK中を中心にやるとすれば、成城ホールとか施設がたくさんあるので、才能の芽の手法なども皆さんお持ちなので、そういったことができないかなとちょっと思いました。

それがかなわなくても、ダンス部はつくる方向で動きますけれども、そういったことで区のトライアルにも貢献できれば一石二鳥というような都合のいい話を考えました。これはK中だけでなく、恐らくダンス部とかを今やると人気が出るし、教えられる人は限られているので、ただ、学校の教員には少ないのですけれども、地域には多いと思うので、そういったこともトライアルの一つになるし、新しい部活の種目として一つとてもいいかなと思った次第です。

もう1点は、教員が1人相談に来たのですけれども、剣道部の顧問の話です。この方は世田谷区の剣道連盟の人で、剣道はとても競技人口が今減っていて、練習もままならない学校もあるんですね。拠点校方式というものをやりたいんだけど、どうか、という相談でした。「それは今度、そういう検討委員会があるから話題にしてみるね」と言って今日は来たのですけれども、土曜日とかに例えばK中に集まって合同練習をしながら、剣道連盟の方にも関わっていただき、競技の存続も含めてできないかなというような提案を教員からしてきました。

先ほどのダンス部は生徒発信で、剣道部の拠点校は教員発信、恐らくほかの学校にも、そういうアイデアのある教員も子どもたちもいると思うので、それをどうやって回収するかみたいなことも、子どもの声を聞くということを世田谷区は言っているので、そういった書き方も一つあるのかなと思いました。

あと、教育政策的にはキャリアパスポートに世田谷区はとても力を入れていまして、先ほどの個人情報も含めて、キャリアパスポートに今ボランティアをやった子が記録するページがあったりするのですけれども、部活動も地域移行になっていったときに、自分のキャリアとして、そういう記録をしていって、それをまた教員が見て、こういう活動をしているんだねと知るということも結構大事だと思うので、これは教育指導課になるかもしれないのですけれども、キャリアパスポートにどうそれを絡めていくかみたいなことも、子どもの成長ということを考えたら一番大事なことなのかなと思いました。

○委員長 ありがとうございます。3つほど御意見をいただきました。ダンス部、剣道部、キャリアパスポート、ここも一つ来年度に向けて検討いただく種かなと思って聞いておりました。

もう一つ、コーディネーターの件が委員から出ていましたが、来年度、コーディネーターをどうしますか。

○事務局 コーディネーターのことは、やはり考えていかななくてはいけないので、何らかの形でトライアルでできるのかどうなのかというのを少し考えていかななくてはいけないなと思っています。民間の事業者でもできる可能性もあるかもしれませんが、国のほうで示しているのはまたちょっと違う形なので、そこは整理が必要かなと思っています。コーディネーター的なことを少し試していますというお話がさっきありましたけれども、そういうところもぜひお話を聞かせていただいて、どういうふうに生かしていくのか、何ができそうで何が難しそうなのかというところは少し整理していきたいと思います。

○委員長 ありがとうございます。恐らく学校と請け負っている団体が直接つながるとなかなか難しいところもありますので、コーディネーターというか、間に入っただけの方が、いわゆる個人情報ですとか、そういったところをどういうふうに管理できるかというところが一つ大事ななと思っていましたが。

○事務局 個人情報のことだけ少し補足をします。学校が持っている個人情報を伝えるというのは規定上、難しいというところがあります。団体のほうで個人情報をどう扱うかというルールをしっかりとつくって、それは世田谷区でもいろんな団体でいろんなことをやっていますし、区での個人情報の規定もありますので、そういうところを準用するような形で十分できるものかなと思っていますが、ルールにのっとって、ルールをしっかりと守った上で、まず一番取っつきやすい形としては、生徒御本人から情報を収集して団体に管理していただく。実際は保護者からになるのかもしれませんが、御本人が承諾をした形で情報収集していただいて、その収集した情報をきちんとルールを守って正しく管理していただく。もちろん、漏えいとかがないようにという考え方が基本にはなるのかなと思っています。

実際にどういうふうにやるか、団体もいろんな方がいらっしゃいますから、個別の課題はあるんだろうなとは思いますが、一応そういう考え方は一つあるかなと思っています。

○委員長 ありがとうございます。ほかに、では、委員、お願いします。

○委員 一つお伺いしたいのは、来年のトライアルについて、対象の中学校は全校に広げようとしているのか、その辺がちょっと分からなくて。というのは、今年のトライアルで特に他中学との合同の中での課題で、例えば移動手段の問題であったりとか、今お話しが

あった学校との連携であったりとか、あと定期試験の違いによって一緒にできなかったとか、予定した日にたしかできなかったというような課題が前回あったかと思うんですけども、少なくともその辺はしっかり整理してあげないといけないのかなと思っていて、どの範囲まで広げようとしているのか。

○事務局 今いろいろなことをどうしようかとは思っています。もちろん、全体のバランス等を見ながら、手を挙げていただいた学校で、その前提で事業者を募集していくという方法もありますし、一方で学校を限定せずに、今の演劇部のやり方みたいに全校から募集をして、手を挙げられた方に参加していただくというような形も、ある意味有効な形かなとは思っていますので、正直3つぐらいのパターンの中でどれにしようかと今迷っている状態です。

さっきお話があった定期試験でスケジュールが合わなかったというのは、私どももお話を伺って、なるほどなと思っていて、当然そういう話は全校を対象にしたりする場合は出てくるのかもしれないなとも思いますし、そこは先生方に御意見を伺わないと、私たちは勉強不足なところが多いのかなとも思っています。ただ、逆に言うと、やってみないと分からないことでもあったのかなとも思っております。

事業者を取り入れていく中では、事業者を選ぶところはプロポーザルみたいな形でやるのが望ましいのかなと思っていますので、プロポーザルにかけるときの条件の設定の仕方というのは、選択肢は幾つかあると思っています。逆にいろいろと御意見を伺えればとも思っております。

○委員長 ありがとうございます。ほかにあと1人、2人、どなたか、来年度ここら辺を検討してほしい。いろんな話題が今出てきましたので、かなり検討課題が多いなという気がしておりますけれども、いかがでしょうか。委員、お願いします。

○委員 すみません、遅刻してきたので話の流れも分からない中でずれていたら申し訳ないんですけども、さっきのお話の中でサードプレイスのお話があったと思うんです。このところで僕が感じた意見というのをお伝えしたくて、サードプレイス、イコール今の部活動から例えば会費を上げると、こぼれちゃう人がいるよねという意見が多分主なんですけれども、逆に今の部活動がサードプレイスになっていない層も一定数いると思っていて、いつも僕はサッカーの話をして恐縮なんですけれども、サッカーチームは結構分かりやすく、部活動に入部をするだけけれども、物足りなくて途中からクラブチームに移籍をするというパターンは非常に多いんですよ。

それは多分サッカーで考えたときに、部活でやっているとうまくなれないんじゃないかという不安からクラブチームに移るというケースも結構見るので、それを考えると、サードプレイスというのは、安くて仲のいい友達といつもいる先生と一緒にやれるということだけが多分居場所ではなくて、上手になりたいとか、もっと上を目指したいみたいなことを希望する子どもたちのための場というの、サードプレイスとして用意してあげるという視点はすごく必要かなと思っています。

なので、僕もこのパターンでいくと、民間事業者とかスポーツクラブ、プロチーム等のトライアルというのはすごくいいなと思っています、できることとしては両方の選択肢、要はうまくなりたい子は、例えばもっと上を目指したい子たちのことを提供してもらいつつ、そうではなく、ただお友達と楽しくやりたい、そこに価値を見出す子たちが置いていかれない。両方の選択肢を提供してあげるようにして、受益者負担の考え方も、言い方はあれですけども、逆にそっちの上を目指さないで楽しめるみたいなのところは非常に安価に参加ができるし、でも、もっと上のレベルを目指したくて、もっと高い指導を受けたいという子たちに対しても、部活動の枠組みの中でも、そういうものを受益者負担で提供するみたいなのができれば、すみ分けができて選択ができれば、生徒からすればサードプレイスを失うことはないのではないかなというのをすごく思いました。というのが一つ言いたかったことです。

あと、ごめんなさい、話が変わっちゃって、個人情報のお話なんですけれども、これは僕もすごく気になっていて、僕が気になったのはPTAをやっている中ですごくずっと気になっていたことなんですけれども、僕も今おっしゃっていたように、先に決めの問題で、委員がおっしゃったような形で最初に同意を取ってしまえば、うまくやれるんじゃないのかなというのはずっと思っていて、PTAの個人情報も僕はずっと学校からは提供できないとなって、こっちで取得しろみたいになっているんですけれども、結構それは無理があるので、最初の段階でもうこの利用目的の中に入れてしまって同意を取るみたいなのが出来るようになると、いろんなことがスムーズに進むようになるんじゃないかなというのはすごく感じていた部分だったので、今後の総合型クラブでやっていくに当たっても、最初に同意を取ってしまうようなやり方をぜひ御検討いただけるとありがたいなと思いました。

○委員長 貴重な意見、ありがとうございます。上を目指すこと、ある種、緩く交流することということを少しすみ分けながら、トライアルしていただいたり、利用目的のとこ

ろを最初のところでちょっと広い形で取っていただいて、個人情報を取るというところですね。お願いします。

○委員 委員、ありがとうございました。

1つ確認なんですけれども、上を目指したい子というのは受皿が結構それぞれ民間事業者があって、スイミングスクールや硬式野球、シニアのチームやJリーグのアカデミーというものが既にあるんですけれども、それも含めて地域クラブと呼ぶのかどうなのかというところが多分重要な視点になってくるのではないかなと思うんですけれども、皆さん、いかがでしょうか。そういったところまで地域クラブとして入れるのか。そうなると、英会話を習いたいからとか、高校進学を目指して塾に通いたいからといったことも類似しているのではないかなと思っていて、地域クラブとはどういう活動なのかというのを、世田谷区の中である程度共通認識を生むということも必要になってくるのではないかなというのは思いました。

○委員長 ありがとうございます。今後、1個ずつ事例を積み重ねながら、どこまでが地域クラブであり、どこまでが営利で、あるいはトップでいくのかということも、既存のいわゆる部活とはちょっと違う範囲だということ、線引きはどこかでしていかなきゃいけないだろうなというところで、まだそこまでは今の段階で行き着かないというところですかね。

あとはよろしいですかね。また何かございましたら、最後に言っていただいて、一旦ここで切らせていただいて、次第の5のところの地域移行に関するアンケートで、生徒、保護者、教員向けの内容につきまして、そちらに話題を移したいと思います。資料2につきまして、事務局、よろしくをお願いします。

○事務局 では、御説明をします。一緒にアンケートを御覧いただきながら追って御説明をしようと思っていたのですが、大分時間も押してきているので、一つずつ読み上げるのは省略させていただこうと思います。

アンケートは今回3種類です。まず生徒は、部活動をやっていない方も含めて全ての生徒の方を対象にしています。保護者のアンケートは今回初めてです。教員向けのアンケートもございまして、これも顧問をやっていない方も含めて御意見を聞くという形と考えています。実施の時期については、9月後半ぐらいにやりたいと思っております、なるべく多くの方に高い回答率でお答えいただけるように、少し中学校に御依頼するときに頑張ってみようと思っております。内容については、それぞれ目で追っていただきたいと思います。

す。

簡単ですが、御説明は以上です。

○委員長 このところで目玉になるというか、ここだけは聞いておきたい項目だというのが、生徒のところでも具体でもいいですし、教員のところでもいいですし、保護者でもいいんですけども、ここは絶対取りたいというのは何かありますか。

○事務局 保護者のほうですけれども、今回初めてということもあるので、例えば1枚目にあります質問4、指導に期待をしているところですか、次の2ページ目ですが、クラブチームの経験のある方とかに参加してみてよかったことなどを聞いているところなどは、回答を少し期待するところです。それから、課題としてもかねがね挙がっているものなので、3ページの質問11の費用の負担に関するところですか、次の4ページ、質問14の移動手段に関するところですか、そういったところが伺ってみたい項目ではあります。

同じような質問が生徒向けにも含まれているところもありますので、そこは同様です。今ぱっと思いつくのはこのぐらいです。ありがとうございます。

○委員長 ありがとうございます。基本的には、もう9月には区内全部に配付しようという感じですかね。

○事務局 中学生はタブレットから回答してもらうという手法がありますので、全員の方にタブレットから回答いただく。実際は学校から答えるようにということを伝達していただくんですけども、そういうふうに考えております。

○委員長 大規模アンケートを取るときに、私たちが研究でやる場合に意味が分からないで答えている場合があると思うんですね。それを事前に、もちろん、こちらの検討委員の皆さんの御意見もそうなんですけれども、こちらの検討委員の皆さんは、既にこの状況を知っていて回答されているんですけども、真っさらな完全な初見の方たちを数名ピックアップして、意味が分かるかどうかというのを先に聞いてからまかないと、多分回答自体の信頼性がなくなってしまうかなという感じはするので、一旦予備的にどこかもしかしたら20人と10人とか入れたほうがいいかなというのは、私はちょっと気にはなっています。

内容と手続に関わりまして、何か皆さん、御意見はございますでしょうか。委員、お願いします。

○委員 今、委員長がおっしゃられた前提が全然違うと多分アンケートがばらばらになってしまうので、保護者、特に学校の先生が部活動をこのままずっと続けていると思っている保護者が相当多いと思うんです。地域移行にされますということの前提がないと、生徒

もそういう生徒が多分まだまだ多いので、我々の中学校でも体力向上部がトライアルをやっていたとしても、ほかの部はバスケットですとか、ほかの子たちはそのまま先生に教わって、このままずっと行くと思っていますから、そこが前提をしっかりとった上での回答ということでしたほうがいいアンケート内容が出ると思います。

○委員長 ありがとうございます。まさに当事者というんですか、自分事として捉えられるかどうかというところの前提をどうつくるかというところかなと思っています。

ほかに、委員、お願いします。

○委員 まず、このアンケートの目的って何だろうと一つ思いました。というのは、今、委員からお話がありましたけれども、知っている人は知っているけれども、無関心というか、知らない人は知らなくて、例えば生徒であれ保護者であれ、これがまかれたときに、もしかしたら来年度から地域移行がいよいよ始まるのかなという期待感、逆の立場で言うと不安感みたいなものが出てくるのかなと思って、ちょっと想定できるかなと思っているので、そもそもこのアンケート自体、何を目的に行うのかというのをしっかり具体的に示していかないといけないのかなとは感じています。

○委員長 事務局、今の目的というところになりますが、いかがですか。

○事務局 目的としては、今回、中間まとめをしますけれども、報告書を完成させるに当たって、去年もアンケートを取ったり、御意見を聞いたりということはしていますけれども、もっと多くの人、それから世田谷区の子どもたち、保護者たちからしっかり意見を聞くというところをもう少ししっかりやりたいところが目的かなと思っています。期待感とか不安感とかというお話がありました。なぜやるのかということですか、地域移行について、もちろん正しく伝えることは重要なんですけれども、かといって今すぐ動き始めるわけでもないということも含めて、そこは前提の情報としてお渡しした上でアンケートを答えていただくというところはやっていきたいと思っています。ありがとうございます。

○委員長 ありがとうございます。ほかにいかがでしょうか。お願いします。

○委員 先ほどお話しした内容と重なりますが、例えば質問22の生徒のものですけれども、御意見などがあればといっても、これは一般論なので、あまり自分事として考えない意見が出てくるのだと思います。先ほどダンス部をつくってほしいとか、それから教員のほうで言えば、切実に拠点校方式を考えたいとか、そういうトライアルにつながるような目的の自由記述があってもいいのかなと。つまり、アイデアを募る。なければならないので

すけれども、こうしてくれるといいよなというような子どもの声とか、保護者や教員の声とか、実現するかどうかは別ですけれども、目的の一つにトライアルについてのヒントになるような記述を求めるのもいいかなとは思いました。

○委員長 貴重な御意見、ありがとうございました。トライアルのヒント、こうしてほしいという希望が書けるようにしていただけるとありがたいかなと。

○委員 失礼いたします。まず、生徒向けと保護者向けのアンケートについてのところで、先ほど副委員長から、こちらが意図していることがちゃんと理解できて答えられるかというところで、特に質問9の「あなたは、学校部活動以外に地域やクラブチーム等の活動に参加していますか。」、これは聞き方が難しいなと思っていて、スポーツ等の習い事というふうに聞いたほうが、学校の外で習い事としてやっているというほうが生徒さんはイメージしやすいのかなと思いました。これは保護者も同様かなと思います。

あと、保護者のところで細かいんですけれども、保護者の3ページ目、質問11の選択肢の2つ目のところ、「謝礼や施設利用」の間違いかなと思いました。細かくてすみません。保護者の質問11が「施設利用料」かなと思います。

あと、教員のところなんですけれども、5ページ目、質問20のところで、中には部活動を担当したいと。一番部活動を担当したい先生が期待していることというのが、兼職兼業になってフィーがもらえる。これまでボランティアでやっていた土曜日、日曜日の活動がちゃんと手当が出て兼業ができる。そういった見返りがあるということをもしかしたら期待される方がいるんじゃないかなと思いますので、質問18、19のところには、そういった記述があるんですけれども、20のところでもあったほうがいいんじゃないかなと思いました。そういったところが気になったところです。

○委員長 ありがとうございました。ほかにいかがでしょう。内容、聞き方、手続。委員、お願いします。

○委員 今、トライアルに参加している子たちの答え方、先ほどの質問9のところで「学校の部活動以外に地域やクラブチーム等の活動に参加していますか。」というのは、自分はどっちなんだろうと多分迷うと思うので、その場合には、こちらですよということは示してあげないと、トライアルに参加している子がばらばらになるし、迷うと思うんです。あくまでもそれのない状態の想定だと思うんですね。今トライアルに参加している子たちが答えやすい質問肢とか補足が必要かなと思いました。

○委員長 ほかにいかがでしょうか。この聞き方で分かるかどうかとか、例えば委員、い

きなり振っちゃっていいですか。保護者、例えばこういうふうに聞かれたら、どうでしょうみたいな。

○委員 多分保護者として、選ぶ項目がいっぱいあったほうが答えやすいと思うので、自由記述が一番難しいというか、イメージとして選択肢があると、ああ、こういうことねみたいな形で、アンケートを読み進めると答えやすいのかなと思うので、生徒は先生からの話も聞きながら答えられたりするかもしれないんですけども、保護者は多分家でこれをぱっと見たときに、何を聞かれているのかとか、何を答えればいいのかというのを、これだけ項目があると答えやすいのではないのかなと思いました。内容が、細かいところではないんですけども、選択肢がいっぱいあるほうが保護者は答えやすいのではないかなと思います。

○委員長 突然の振りで申し訳ありませんでしたが、ありがとうございます。

委員、何かありますか。

○委員 今ヒアリング中なんですけれども、質問10が1個は保護者として結構悩んじゃうかなと思いました。1個にしたほうが結果は出やすいんでしょうけれども、選択肢が11個あるので、自由記述もあるというのがありますけれども、複数選択できるほうが、これは何となく幾つか選びたい気がしました。

質問11は、4つから選んでもらうということですね。無料とか区に負担してほしいは、それはそう思うわなという気が何となく保護者からすると、取りあえず、いや、無料なら無料があったら、これをやっておいたら無料になるかなみたいな感じで選んじやいな感じはするものの、でも、これは4つ全部に答えるということですね。であれば、その上で下の「やむを得ない」をどれぐらいの人が選んでくれるかみたいなのところがあればいいのかなというところですね。

○委員長 ありがとうございます。委員、お願いします。

○委員 今の委員と同じで、子どもの質問14です。これは1つ選ぶということにしたほうがいいのか、内容が全く違うので、やはりなかなか1つは難しいのではないのかなと思います。

○委員長 ありがとうございます。回答の選択のさせ方に関わって複数回答、同時に集計の仕方を確認しながら検討いただけるとありがたいかなと思っています。

○副委員長 私も保護者の委員に伺いたいところなのですが、保護者向けのアンケートの質問12、受益者負担は私は実態を知りたいなと思っております。500円以内、501円～1000

円、その次が1001円～5000円、次は5001円～1万円とどんどん幅が大きくなっていくんですけども、これはどうですか。別のところで言うと、2000円と保護者さんが答えたと聞いたことがある気がして、だから、細かいほうがいいのか。2000円だなどと思っても、5000円までオーケーと我々としては取るではないですか。だから、そのあたりの刻み方というか、あるいは数字を書いてもらうほうがいいのかとか、どうですかという感じです。

○委員 それは確かに難しいですね。

○副委員長 5000円が一つの目安になるかなと思っていて、どうですか。トーク形式で申し訳ないんですけども、少年団とか、要はあまり営利を目的としていないクラブに入ると、基本は2000円から4000円ぐらいという月謝のイメージなので、習い事のスクールとかに入ると7000円から9000円ぐらいみたいな違いなので、部活動は今、分からないですけども、桜丘中のサッカー部は年間で7000円ぐらいとかなので、もっとさらに安いんですよ。なので僕としては、さっき受益者負担という話のときも、スクールまで行く必要はないけれども、少年団ぐらいまでは少なくとも行ってもいいんじゃないかなみたいな感覚がちょっとあってというのを考えると、4を選ぶ人が何となく多いんじゃないかという気はしつつ、そこに2000円と4000円があったらというのは確かに聞いてみたい気はするんですけども。

○委員 4番が確かに1000円と5000円だと幅がちょっと大きいかなというのと、うちの子どもは今バスケ部なんですけれども、少年団というかクラブ、ミニバスは2000円、3000円台のお月謝みたいな形で、それにお母さんたちのお手伝いももちろん含むという形だったんですけども、部費が同じぐらい、1か月何百円計算のという形で、高い部活は年間で1万円とかはあるんですけども、1万円以内がほとんどと考えると、1か月5000円というと、それだけの技術を受けられるならというふうに、どうしても払うほうとしても見返りをちょっと求めちゃうかなという金額に5000円だとなるけれども、1日100円で3000円という形で、3000円ぐらいだと割と出しやすいのかなと。私が一般的な金銭感覚かどうかはあれとしても、3000円ぐらいまでだと高いなと思う人が比較的少ないかなというか、高いと感じにくい金額かなと思って、2000円～3000円ぐらいの金額設定があると一番選びやすいのかなと思います。

○副委員長 さっき細かいほうがいいのかというお話もあったので、細々としたほうがいいのかとか聞いてみました。すみません。

○委員 なので、今、僕と委員の意見をまとめると、多分1万円以上はもうまとめちゃっ

ていいかなと思っていて、むしろ1000円から5000円のところを若干刻んでもらえると何となくいいような気がしましたし、今お話を聞いていて思ったんですけれども、確かに保護者の出番と見合いで結構判断するので、スクールはもう任せちゃえるから高くてもいいし、少年団はお当番があるので安いけれどもみたいなのところがあるから、あるかないかによるよねみたいなことを言う人もいそうですね、言い出したら切りがないので、これは大丈夫です。

○委員長 とてもリアルなお話で、ありがとうございました。

○委員 今のにちょっと付随しますが、参加費等についてです。参加費なら参加費としてしまわないと、実際に今、部活の部費を集めていますけれども、部費は年間6000円とか7000円とかが多い。そうすると、月500円かと思うと、今の部活動だったら②なんだと考えます。でも、地域移行になってどう動いていくのかなというのは知りたいなと思ったんですけれども、参加費等に実は大会参加費なんかも入れている部もあれば、それは別途集めるという部もあるんですね。

だから、この「等」の捉え方で答えがきっと変わってくると思います。あくまでも地域移行をしたときのその団体が、本当に1か月参加してくれた子どもたちに指導をするとか、それだけの金額、それ以外のユニフォーム代とか大会参加費というふうに思う保護者もいると思いますから、だから、参加費だったら参加費だけにしておいたほうがいいのかと思いました。

○委員長 ありがとうございます。では、そろそろ最後にしたいと思いますが、いかがでしょうか。

○委員 生徒向けのアンケートでふと思ったんですけれども、例えば質問14なんかを見ると、運動系の部活動を念頭に質問しているような気もしていて、文化系の部分というか、例えば中体連であったり、大会・競技会とかと4つ書いているんですけれども、文化系のものが具体的にないなと思いました。すみません。全体的に何かそんな感じかなと思いました。

○委員長 そろそろ議論を収束したいなと思っているんですが、個別でまた何かございましたらメール等でいただいたほうがいいかなと思っていますので、それぞれの意見が大変重要なアンケートの中身になりますし、これが政策につながっていくということから考えると、御意見をいただいたほうがいいかなと思っていますのでございます。

では、次第の5番目にありましたアンケートの件につきましては、これにて一旦閉じさ

させていただきます。

その他というところで事務局よりお願いします。

○事務局 今日には特にその他の御連絡はございません。

次回の日程につきましては、また改めて皆さんに御都合を伺って調整させていただきます。

○委員長 ありがとうございます。皆様のほうから何かございますでしょうか。冒頭、会議録、それから2番目に扱いました中間報告等につきまして、字句修正も含めて御意見等はございますでしょうか。あるいはそれ以外のことでも構いません。よろしいですかね。

それでは、ございませんので、以上をもちまして第8回の検討委員会を閉会としたいと思います。暑い中お集まりいただきまして、また長時間お付き合いいただきましてありがとうございます。また引き続き、どうぞよろしくをお願いします。本日はありがとうございました。

午後8時00分閉会